



ユニバーサル・ビジネス・テクノロジー株式会社 Universal Business Technologies Corporation

Book Scanner ユーザー導入事例



Okinawa Prefectural Archives

【1995年8月開館】

歴史資料として重要な公文書その他の記録を収集し、整理し、及び保存するとともに、これらの利用を図り、もって学術及び文化の振興に寄与することを目的としています。

(同館ホームページhttp://www.archives.pref.okinawa.jpより転載)

【施設】

沖縄県島尻郡南風原町(ハエバルチョウ)にあり、閲覧展示棟(地上2階)と管理棟(地上4階、地下1階)の2棟からなるもので沖縄の高倉集落をイメージしています。



沖縄県公文書館(以下同館)では沖縄県文書、琉球政府文書、米国政府等関係機関、地域資料を収集、保存しています。特に沖縄県立図書館から受け継いだ琉球政府時代の公文書は沖縄返還時の様子を知る貴重な資料として順次デジタル化し、「デジタルアーカイブ」として同館のホームページ上で公開しています。

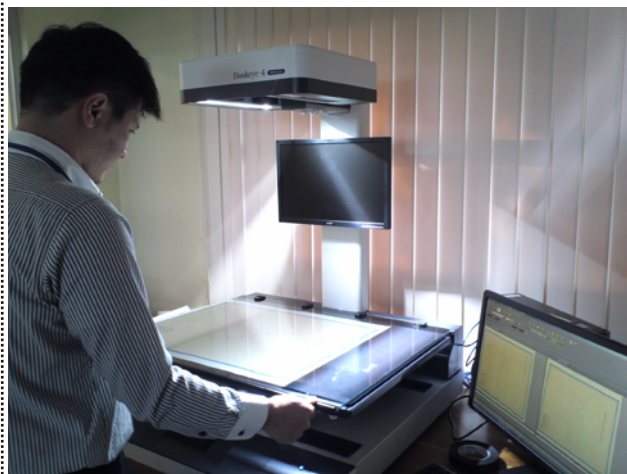
【ブックスキャナーの要求仕様】

- 最大A1サイズまでの図面のスキャンが可能であること。
- CCDイメージセンサーを搭載したオーバーヘッド式ブックスキャナーであること。
- 原稿台をフラットにした状態でガラス押さえが使えること。
- 公共機関での導入実績があること。
- TIFF形式、非圧縮のファイルに出力できること。

【機種選定】

この要求に応えたのがユニバーサル・ビジネス・テクノロジーが輸入・販売するドイツ Image Access社製のブックスキャナー、Bookeye® 4 V1A Professional モデルでした。

Bookeye® ファミリーは CCDイメージセンサーを搭載したラインセンサー式カメラの利点を生かし、その高品質なスキャン結果と操作性が高く評価され、世界中の図書館や公文書館に多くの導入実績があります。



【プロジェクト】

本プロジェクトでは地元沖縄でマイクロフィルム撮影や、ブックスキャナーによるデジタル化業務に多くの実績がある株式会社Nansei によりこのBookeye® 4 V1A Professional ブックスキャナーが同館に持ち込まれました。

同社は過去にBookeye® 4 V2 モデルを使用したデジタル化のテスト業務を実施しており、今回採用されたこのV1Aモデルでも同じ操作・インターフェイスで操作ができるため、作業は円滑に行われました。

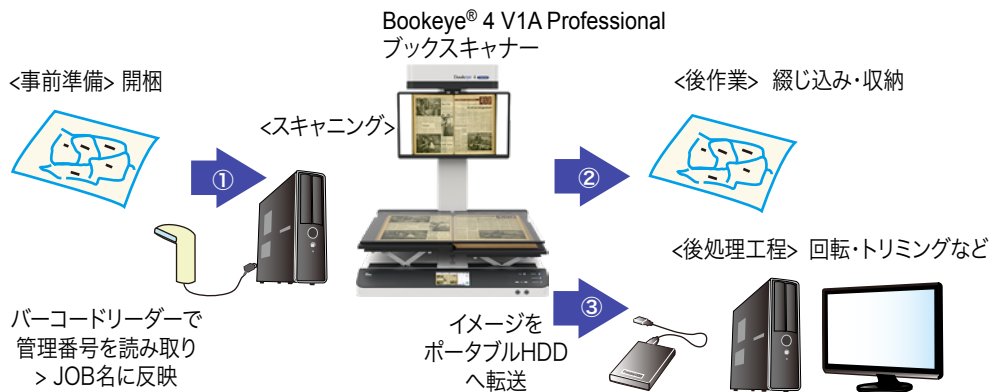
---貴重な図面のため、細心の注意を払った作業が行われました。---

【土地区画図面のデジタル化業務】

Bookeye® 4

V1A Professional

ドイツ、Image Access社が開発、製造するブックスキャナーシリーズの旗艦モデル。180°フラット、140°V字、段差解消の3つの機能を有するブッククレイドルと平板ガラスプレートにより資料の形態に合わせたスキャンが可能。書籍の電子化や図面の電子化を幅広くサポートします。



○製品の仕様・内容および外観は予告なく変更されることがございますので、予めご了承ください。○会社名・製品名は各社の商標もしくは登録商標です。○このパンフレットの記載内容は、2015年7月現在のものです。

■ 輸入・発売元



ユニバーサル・ビジネス・テクノロジー株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビル 12F
TEL 03-3287-1170 FAX 03-3287-1171
URL: www.ubtc.jp sales@ubtc.jp

■ お問い合わせ